



ハラスメントの裏に潜む 無意識の偏見

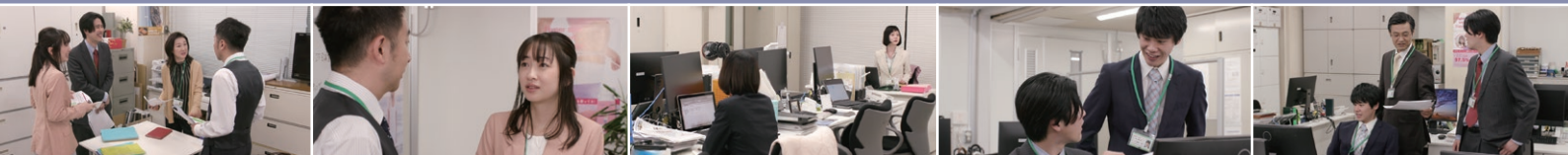
アンコンシャス・バイアス

職場のコミュニケーション向上のヒント

「アンコンシャス・バイアス」とは、無意識の偏見や思い込みのことで、日常の何気ない言動の中にも表れ、職場ではハラスメントにつながってしまうこともあります。しかし、アンコンシャス・バイアスは誰もが持っていて、完全になくせるものではありません。大切なことは、「自分にもアンコンシャス・バイアスがあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことです。

この教材は、登場人物の視点や立場が変化する構成によって無意識の偏見を見える化し、どのようにバイアスと向き合っていくかを自分ごととして考えることができる内容になっています。

自覚なくハラスメントの加害者にならないために……。職場のコミュニケーションを見直すきっかけとしてお役立てください。



上映時間24分 [C#3517]

DVD 70,000円(税込77,000円)

「解説書」あり 字幕・副音声版付き



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<https://www.toei.co.jp/edu/>

ハラスメントの裏に潜む 無意識の偏見

アンコンシャス・バイアス

職場のコミュニケーション向上のヒント

Chapter1 ステレオタイプ ～気づきを共有する～

ステレオタイプというのは、人の持つある属性（性別、人種、年齢、血液型、学歴、など）に関連づけて、先入観や固定観念でその人のことを勝手に決めつけてしまうバイアスです。

性別に関するステレオタイプにとらわれた言動は、セクハラやSOGIハラにつながりやすいため注意が必要です。



Chapter2 経験則によるバイアス ～価値観を確かめ合う～

経験則による価値観に固執し、「自分のときはこうだったから」と、それを相手にも押しつけてしまうと、パワハラやマタハラ、ケアハラのきっかけになってしまうことがあります。

お互いに相手の価値観を確認し合う意識を持つことで、認識のズレを防ぐことができます。



Chapter3 能力の決めつけ ～客観的な視点を意識する～

日々のコミュニケーションの中で、人は無意識に相手の能力を評価してしまっていることがあります。そして、その判断基準には様々なバイアスが影響しています。

偏った判断基準のもと、相手や自分の能力を評価してしまうと、言動がパワハラにつながってしまうことがあります。



制作プロダクション 東映東京撮影所

企画・製作 東映株式会社

予告編配信中!

<https://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像

検索

令和5年(2023年)作品

- 本DVDは、ご購入いただいた官公庁(都道府県市区町村・視聴覚ライブラリー・教育委員会・警察・消防等)や事業所等での貸出し、非営利上映を行うことを前提とした商品です。著作権処理を行うことなく、上映会や研修会等でご使用になれます。
- 本DVDについて次の行為に該当する場合は、使用の可否や別途料金等について、必ず当社までご相談ください。
・テレビでの放映 ・ビデオオンデマンド等による配信
- 著作権者に無断で、作品の一部または全部を複製・改変・放送・有料上映・配信することは、著作権法違反となり処罰の対象になる場合があります。
- DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。パソコンなど一部の機種で再生できない場合があります。

発売元: 東映株式会社 コンテンツ事業部門 教育映像部
営業推進室 〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 TEL.03-3535-3631

●お買い上げは……